

# いやさか通信

(※「いやさか」とは、「栄える」という意味を持つ「弥栄」を平仮名で表記したものです)

	年齢	R3.2末(前月比)
弥栄町の人口	0歳～14歳	488人(-3)
	15歳～64歳	2,387人(-11)
	65歳～	1,873人(+3)
	合計	4,745人(-11)



事業概要図

**安心安全なまちづくりへ向けて**  
 弥栄町内を広域的に横断する基幹道路である府道網野岩滝線は、令和元年度、京都府において溝谷から外村までの区間がバイパス道路事業として新規採択されました。現在、測量や設計が進められており、今後は整備に向けた用地買収や工事が行われる予定となっています。  
 外村区長の岩井さんは「この路線はスピードを出して通る車も多い。地域の子どもたちや住民の安心・安全のために、1日も早い完成を望んでいます」と話されていました。



意見交換会の様子（黒部校区）

**アンケート結果報告会**  
 3月15日、弥栄町内の5会場で「わたしたちのまちづくりに関するアンケート」の結果報告会がオンラインで行われました。新旧区長さん、いやさか地域づくり準備会の委員さんにご参加いただき、地域づくりを支援しているNPO法人みんなの集落研究所の先生から、校区別、年代別に分析したアンケート結果の解説がされた後、校区ごとに「今後、この結果をどのように地域活動に活かしていくか」意見交換が行われました。  
 参加者からは「みんなで力を合わせて、持続可能な地域をつくるには女性や若者の意見や力が不可欠」といった意見が交わされていました。



(左) 稲本さん/ (右) 野間連合区長三本さん

3月4日、地域おこし協力隊の稲本信也さんが、今年6月に協力隊としての任期を終えるにあたり、野間地域で過ごした証として、野間で打ち上げられた花火の写真を野間連合区へ寄贈しました。写真は、昨年の秋に打ち上げられた花火の写真で、霰区から撮影されたものです。  
 例年、花火は夏の野間納涼祭で旧野間小学校のグラウンドから打ち上げられますが、昨年はコロナの影響で中止となったため秋に打ち上げられま



「2020野間花火」撮影：稲本さん

## 地域で過ごした証 ～地域おこし協力隊～

した。また、校舎の解体作業が行われていたため、集落センター近くの農道から打ち上げられた花火の風景写真となっています。  
 野間連合区長の三本さんは「昨年の花火は例年よりも大きく、見事なものだった。稲本さんの写真もとても綺麗で驚いた。集落センターの玄関に飾っているので、来られた際には是非見てほしい」と話されていました。